

ひまわり

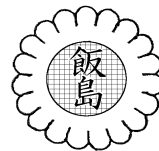
12月号 令和5年11月30日

横浜市立飯島小学校

生きるよろこび

学ぶ楽しさ

のびのび 飯島っ子



おもいやり算

校長 河原 洋之

11月18日(土)のひまわり学習交流会では、保護者や地域の皆様に、子どもたちの頑張っている様子をご覧いただけたこと、大変嬉しく思います。ご参観ありがとうございました。

2学期はひまわり学習交流会に向けての取組や校外学習など、学年や学級のまとまりを意識しながら活動する機会が多くありました。活動を通して子どもたちは、一つのことをやり遂げる達成感や友達と協力することの心地よさを味わったことと思います。一方で友達との間で気持ちがすれ違い、思いがうまく伝わらないことがあったかもしれません。

わたしは人と一緒に活動するときには、相手を「想う」気持ちを大切にしています。「思う」ではなく、「想う」です。「想う」には、相手と心から向き合い、相手のことを考えるという意味が込められているとわたしは考えています。

今から10年ほど前にテレビやラジオで放送されていたACジャパンのCMに「人を笑顔にする算数おもいやり算」というものがありました。ご存じの方もいらっしゃると思います。

おもいやり算

+ たすけあう

- ひきうける

× 声をかける

÷ いたわる わけあう

相手のことを想う行動を算数の四則計算にあてはめたものです。

このCMが放送されたころ、わたしは6年生の担任をしていました。卒業を目前に控えた子どもたちに相手を想う大切さを伝えたいと思い、「おもいやり算」を扱った道徳の授業をしたことを思い出します。

飯島の子どもたちは、とても優しく、いろいろな場面で相手のことを思いやる姿が見られます。そのたびに心が温かくなります。ですが、残念ながら相手を悲しい気持ちにさせる言動が全くないわけではありません。

12月の朝会で、「おもいやり算」について子どもたちに話をしたいと考えています。相手を想う気持ちや「おもいやり算」の大切さを理解し、一人でも多くの子が実践してくれると嬉しいです。

今年も残すところあと1か月となりました。引き続きよろしくお願いいたします。